「脱兎の如くの勢いで」村の発展に邁進していく

南阿蘇村長　吉良（きら）　清一（せいいち）

新年明けましておめでとうございます。

村民の皆さまにおかれましては、令和5年の新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。日ごろから村政運営に格段のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

これまでのコロナパンデミックによる経済活動の停滞に加え、ウクライナ侵攻に伴う物価高騰など、私たちの暮らしが大きな影響を受けた1年となりました。しかし、このような中でも3年ぶりに文化祭が名称を変え「みなみあそ元気フェスタあつまり～ん祭」と銘打ち開催できましたことは、ひとえに皆さまがコロナ感染防止にご努力いただいたおかげと深く感謝申し上げます。今後も引き続き感染症対策へのご協力をよろしくお願いいたします。

昨年を振り返りますと、3月には世界一の村道“長陽大橋ルート”の本復旧工事が完了し、村内の全ての主要交通路において復旧を遂げることができました。これにより5年の長きにわたり復旧業務に当たられた熊本復興事務所・熊本地震復旧対策研究室が閉所されましたが、両事務所の皆さま、そして多くの工事関係者の皆さま、これまでの多大なるご尽力とご貢献に対し深甚なる感謝とお礼を申し上げます。

明るい話題としましては、台湾の東港鎮との国際交流促進覚書の締結、イデアITカレッジの開校、中松集学校のオープンなど、復興から発展へ「ホップ・ステップ」となった年でもありました。

このような中、今後の村づくりに大きく影響する出来事がありました。南阿蘇村が「SDGs未来都市」に選定されたことです。これは、これまでの「3つのK」いわゆる「環境」「活力」「暮らし」の政策が認められた証であり、期待が寄せられたことに他なりません。

「環境」、とりわけ本村の自然環境は群を抜いており、景観や湧水に魅力を感じ移住を希望される方が多いことは大変喜ばしいことです。私はいろんな方に「なぜ湧水が多いと思いますか」とよく尋ねます。そして「森が水を育むと思われがちですが、阿蘇は特別で、水を育んでいるのは水田や草原なんですよ。もし阿蘇全体が自然の森だったら、これほど多くの湧水はなかったでしょうね」と、阿蘇の自然環境は人の手によって守られてきたことを説明しています。これからも環境保全に積極的に取り組み、移住希望を多くいただける村、村民が心から誇りに思う村の実現に向けて進めてまいります。

今年は7年ぶりの南阿蘇鉄道の全線開通、震災ミュージアムオープンと、ビッグイベントを控えており、新たな節目の年となります。「ホップ・ステップ」から「ジャンプ」となるよう「脱兎の如くの勢い」で邁進してまいりますので、なお一層のお力添えを賜りますようよろしくお願いいたします。

最後に新春の門出にあたり、皆さまにとりまして健やかで幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

「一念通天」
これまでの努力が花開き、実り始める年に

南阿蘇村議会議長　桐原（きりはら）　純男（すみお）

新年明けましておめでとうございます。

村民の皆さまには、輝かしい新年を迎えるにあたり、謹んでお慶びを申し上げます。また平素より、南阿蘇村議会に対しまして、温かいご理解とご協力を賜っておりますことに、議会を代表いたしまして心より御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、いまだ終息が見られない新型コロナウイルス、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻、また大幅な円安等により、安全保障問題や食料品をはじめとする、生活必需品の高騰等で、将来に不安を感じる年ではなかったかと思います。

しかし、国からの全国旅行支援等の新型コロナウイルス対策や、物価高対策等の財政支援、規制緩和等により観光、宿泊関連や農業等の状況も少し落ち着きを見せ、以前に戻りつつあるところです。

村議会といたしましては、総務常任委員会で、議会改革について議論を重ね、昨年12月議会定例会におきまして、人口減少や財政状況を鑑み、次回改選期から議員定数を、現在の14人から12人へと削減すること、及び本年3月議会定例会から、今までの3つの常任委員会を「総務産業常任委員会」、「文教厚生常任委員会」の2つの常任委員会にすることが可決されました。議員定数削減により経費削減と、委員会におきましては、活発な議論が交わされることになると期待されます。

さて本年は卯年です。「卯」は「春の訪れを感じる」という意味、また、「卯」という字の形が「門が開いている様子」を連想させることから「冬の門が開き、飛び出る」という意味があり癸卯（みずのと・う）には、「これまでの努力が花開き、実り始めること」といった縁起の良さを表しているそうです。

本村も、熊本地震から7年を迎えようとしています。夏までには地域住民が待ち望んでいる、復興のシンボルと下流域の住民を災害から守るという、大きな二つの事業が完了いたします。5月には立野ダムの完成。7月には南阿蘇鉄道の全線開通が予定されています。これで大きなインフラ整備は、ほぼ終了いたします。これを機会に本村も、2023年の卯年は、今までの数年間から大きく「飛躍」し、私たちの生活が大きく「向上」する年になって欲しいものです。

今後も村民の皆さまの暮らしを守り、期待と信頼に応えるべく、議員としての役割と責務を自覚し、公明正大な開かれた議会運営に努めるとともに、南阿蘇村の発展に向け議員一同全力を尽くしてまいります。引き続き、皆さまのご支援・ご指導を賜りますようよろしくお願いいたします。

結びにあたり、新しい年が皆さまにとって、笑顔が溢れる幸多い年になりますよう、心より祈念申し上げ、新年のあいさつとさせていただきます。